



世界水準の大学とは何か —国際化と質保証の課題—

【日時】 2015年2月13日(金) 13:30~17:30 (13:00頃より受付開始)

【会場】 東洋大学 白山キャンパス 8号館地下1階(8B11教室)

東洋大学は2014年10月に文部科学省による「スーパーグローバル大学創成支援タイプB(グローバル化牽引型)」の採択を受けました。今後10年間にわたり本事業補助を受け、世界標準の教育・研究・社会貢献活動を推進し、国際的に優れた大学の実現を目指します。本学は「哲学教育」「国際化」「キャリア教育」の3つを教育の柱とし、2012年の創立125周年を契機に「世界標準」の仕組みを取り入れ、その中で永続的な成長を遂げるべく『未来宣言』を発表しました。

今回の採択事業では、この未来宣言を継承し、「TOYO GLOBAL DIAMONDS グローバルリーダーの集うアジアのハブ大学を目指して」をテーマとして、大学改革、教育改革を進めてまいります。ダイヤモンドの原石である学生を磨き、輝きを放つグローバル人財へと成長させる教育を実践することが目的です。エリートから中核人財まで幅広く育成することで、全学のグローバル化構造の総体的な底上げを実現します。

本事業の採択を記念して、以下のように国際シンポジウムを開催いたします。

《同時通訳付》 プログラム13:30開始 (懇親会18:00~)

内容	時間
挨拶 福川 伸次(学校法人東洋大学理事長)	13:30~ 13:40
来賓挨拶 ① 佐藤邦明氏(文部科学省国際企画室国際企画専門官) ② Dr. Wayne Smutz(Dean of Division of Continuing Education and UCLA Extension)	13:40~ 14:00
記念講演① Philip G. Altbach氏(ボストン・カレッジ教授) 「世界水準の大学への道—競争環境下における質保証の課題—」	14:00~ 14:45
記念講演② Eva Egron-Polak氏(世界大学協会 事務局長) 「国境を超える大学の取り組み—国際連携の新たな潮流—」	14:45~ 15:15
スーパーグローバル大学創成支援採択事業説明 竹村牧男(東洋大学学長)「アジアのハブ大学をめざして」	15:15~ 15:35
休憩(10分)	
提言「アジアの大学の国際化と日本の役割」 ① 金子元久氏(筑波大学 大学研究センター 教授) ② 黒田一雄氏(早稲田大学アジア太平洋研究科教授)	15:45~ 16:30
パネル・ディスカッション パネリスト: Altbach氏/Egron-Polak氏/金子氏/黒田氏 モデレーター: 芦沢真五(東洋大学 国際地域学部教授)	16:30~ 17:30
閉会挨拶 北脇秀敏(東洋大学 国際担当副学長)	17:30

18:00より懇親会(会費制/受付時に1,000円領収)を開催します。学生食堂(8号館地下1階)にて立食方式。ふるってご参加ください。

参加費無料

◆ 参加申し込み方法

専用のWebサイトからお申込みください
【検索】⇒「東洋グローバル」



《交通アクセス》

都営地下鉄三田線「白山」駅 A3出口から徒歩5分
東京メトロ南北線「本駒込」駅 1番出口から徒歩5分

お問合せ先 東洋大学 国際地域グローバルオフィス
tel: 03-3945-8172 mail: ml-sgu-sympo@toyo.jp

東洋大学 白山キャンパス 〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20